

令和4年度第1回鴨川市消防委員会 会議録

日時：令和5年2月16日(木)

午前10時00分～10時45分

場所：市役所4階400会議室

[出席委員]

(敬称略)

氏名	備考
長谷川 清一	委員長
東島 康二	副委員長
入野 芳一	
田代 朗	
吉田 裕迪	
栗原 孝明	
佐藤 則泰	

[市行政関係者]

所属・職	氏名
鴨川市長	長谷川 孝夫
鴨川市企画総務部 部長	大久保 孝雄
鴨川市企画総務部危機管理課 課長	小柴 則明
危機管理課 課長補佐	大澤 宣人
危機管理課 消防生活安全係 係長	嶋津 直人
危機管理課 消防生活安全係 主事	吉田 尚也

[傍聴者] なし

[会議資料]

○事前配布

資料 1：令和4年度鴨川市消防団事業実施状況

参考資料：令和4年 火災発生状況

資料 2：令和5年度鴨川市消防団事業計画（案）

資料 3：令和5年度鴨川市消防関係予算（案）

- 当日配布
 - 次第
 - 出席者名簿
 - 席次表
-

1 開会（午前 10 時 00 分）

【進行：危機管理課課長補佐】

会議は公開とする旨を説明。

配布資料の確認後、鴨川市附属機関設置条例第 5 条第 2 項の規定により、本会議が成立する旨を説明。

2 委員長あいさつ（要旨）

本日の議件は 4 件。本委員会が実りあるものとなるよう協力を願いたい。

3 市長あいさつ（要旨）

本市の情勢について、コロナ感染症は少し落ち着きを取り戻しているかには思えるが、今、子ども達の間でインフルエンザが流行ってきているとの報告を受けている。新型コロナとインフルエンザの同時流行も懸念されるので、市民の皆さまには十分体調管理に努めていただきたい。

消防団員は、郷土愛護の精神により地域防災の要として重要な役割を果たしている。そのような中、団員皆さまの迅速かつ勇猛果敢な消火活動にも関わらず、昨年の田原地区の建物火災において尊い人命が失われたことを残念に思うと同時に、一瞬にして全てを奪ってしまう火災の恐ろしさを再認識した。また、去る 2 月 5 日には 3 件の火災が同時に発生するなど、大変な苦勞をおかけしていると考えている。少子高齢化、就業構造の変化等により、全国的に団員数が減少していることから、本市としても組織の活性化を図り、団員が活動しやすい環境整備に取り組んでいきたい。

また、自然災害への対策として、2 月 7 日に大阪府泉南市と「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結した。災害時の対応等について連携を図ることで、災害対応力の強化に繋がるものと期待している。

さらには、自主防災組織の活動基盤づくりについても支援を続けるので、お力添えを賜りたい。

本日の議件は 4 件。詳細については、後ほど事務局から説明をさせていただく。皆様方には慎重なるご審議をお願いする。

4 議事

鴨川市附属機関設置条例第 5 条第 1 項の規定により、長谷川清一委員長が議長となる。

また、委員全員の賛同により議事録署名人を議長が指名し、栗原孝明委員が議事録署名

人となる。

(1) 議件1 令和4年度鴨川市消防団事業実施状況について

【議長】

議件1について、事務局から説明を求める。

【消防生活安全係係長】

資料1により、主な事業実施状況について説明する。

令和4年度は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大により規模縮小や中止を余儀なくされた事業もあったが、対策を行いながら可能な限り事業実施に努めた。

まず、5月15日に予定されていた第18回鴨川市消防操法大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。同日に本部会議及び車両点検を実施した。

6月は、19日に新入団員訓練、安全管理講習及び本部会議を実施した。新入団員訓練では、ホース展張などの基本動作を訓練し、安全管理講習では分団長等の幹部団員を対象に、災害現場での消防団活動が安全かつ確実なものとなるよう、それぞれ鴨川消防署署員を講師として実施した。また、26日に館山市内で開催が予定されていた第41回安房支部消防操法大会が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

7月30日には、千葉県消防学校において第58回千葉県消防操法大会が開催され、川崎団長が来賓として出席した。この大会には、小型ポンプ操法の部に安房支部から館山市消防団が出場した。

続いて10月は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から普通救命講習を中止とした。中旬から下旬にかけて、消防団へのヒアリング調査を実施した。このヒアリングは、消防団員数が減少傾向にあることから、消防団を取り巻く環境の把握と、その対応策を検討することを目的として行ったもの。

ヒアリングは、各車両、女性消防隊から3名以内で出席者を選定してもらい、事務局である危機管理課職員との対面で実施した。これは、消防団本部及び事務局が把握しきれない問題点を知るとともに、今後の消防団運営において消防団本部と団員の考え方のすり合せを行う必要があることから、このような実施方法とした。

11月6日に秋の全国火災予防運動（防火パレード）を実施。パレードの実施に当たっては、消防車両に乗車する人数を3人に制限しマスクを着用して、鴨川消防署の車両を含む27台の車両により市内をパレードした。また同日、西条小学校を会場に鴨川市防災訓練が実施され、会場を管轄エリアとする第1支団第5分団1部と2部が参加した。

12月15日に、夜警出動式を鴨川市陸上競技場駐車場にて実施した。第1支団から3車両、第2支団、第3支団、第4支団から各2車両が出動し、消防団指揮車を含め合計10車両により実施した。

年が明けて、1月6日に鴨川市文化体育館において消防出初式を挙行了。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来賓を表彰関係機関、市内関係者に限定。団員の参加人数を各分団3名とし、マスクを着用して挙行了。式典の内容についても、分列行進、車両点検の実施を見送るなど規模を縮小して挙行了。

今月2月14日に、千葉県消防協会安房支部第3回総会が開催された。

今後の予定として、3月24日に、千葉県消防大会が青葉の森芸術文化ホールにて開催される予定である。

以上が、令和4年度鴨川市消防団事業の実施状況となる。

また参考資料として、令和4年中の火災状況を配布したので、後ほどご覧いただきたい。

【議長】

委員からの質疑意見等の有無を諮るに、吉田委員より意見あり。

【吉田委員】

ポンプ車操法について、鴨川市操法大会も安房支部操法大会も中止となったとのことだが、千葉県操法大会も中止となったのか。

【消防生活安全係係長】

県大会は実施されたが、安房支部としては出場辞退となった。

【吉田委員】

館山市だけが小型ポンプの部に出場したということか。

【消防生活安全係係長】

そのとおり。

【吉田委員】

10月に消防団ヒアリングを実施したとのことだが、初めての試みではないかと思う。ヒアリングの実施結果について、現段階で報告できるものがあれば報告をお願いしたい。

【危機管理課課長】

全体の集計を取り纏めている最中であり、纏まり次第、委員の皆様方にも結果をお知らせする予定である。

ヒアリングの内容としては、消防団の現状と課題、組織体制、消防団の各種行事に対する意識、新入団員の確保方法、機能別消防団員制度について、消防団員としてのやり甲斐、消防団員活動に対する家族や勤務先の理解度等をヒアリングした。また、以前から問題となっている報酬に関することもヒアリングした。

全体的な意見としては、団員が減り、新入団員の確保も難しいとのこと。特に市内でも過疎地の分団については活動自体が困難となっている。

出てきた課題について、消防団本部と今後検討を重ねていきたいと考えている。

【吉田委員】

ヒアリングしたその場で対応方法等を答えることはしなかったのか。

【危機管理課課長】

まずは、現役の団員がどんな考え方、意見を持っているのかということ把握したかったため、その場での回答はしていない。

【議長】

その他、委員から質疑意見等の有無を諮るに、東島委員より意見あり。

【東島委員】

5月15日の鴨川市操法大会は中止となったとあるが、例年操法大会の日に車両点検をしていたと記憶している。今年度の点検はどうしたのか。

【消防生活安全係係長】

操法大会は中止したが、車両メーカーの担当者に来てもらい車両点検は実施した。

【議長】

委員からの質疑意見等の有無を諮るに、質疑意見等無し。

議件1について、原案どおりの承認とするか諮るに、異議無し。

議件1は、原案どおり承認する。

(2) 議件2 令和5年度鴨川市消防団事業計画(案)について

(3) 議件3 令和5年度鴨川市消防関係予算(案)について

【議長】

議件2及び議件3について、関連するため事務局から一括で説明を求める。

【危機管理課課長】

資料2により、主な事業について説明する。

4月3日、本部会議、本部・分団長会議を開催し今後の事業計画について説明する予定。

次に、操法大会については市の大会が5月14日、安房支部大会が会場は未定となっているが6月25日、県大会が市原市の消防学校で7月22日に開催予定。

6月18日に幹部新入団員訓練を実施する予定。

10月に普通救命講習、また消防協会の安房支部が主催する上級幹部研修に参加予定。

11月には秋の全国火災予防運動に伴い防火パレードを実施予定。また、会場は調製中であるが鴨川市防災訓練を実施予定。

12月15日には夜警出動式を実施し、2月までそれぞれの分団で夜警を実施予定。

年明け後の1月6日には恒例の出初式を実施予定。主な事業は以上となる。

令和3年度に引き続き、令和4年度もコロナ禍により思うように消防団活動ができなかった。今後も感染状況等により消防団活動に制限が出てくることが想定されるが、感染対策を行いながら事業を進めたい。

続いて、資料3により主な予算について説明する。

まず、常備消防費が743,699千円、これは安房消防への負担金。

次に、非常備消防費。

消防総務事務費が332千円、これは県消防協会や安房支部への負担金。公用車費(消防車)は、8,235千円。消防車両にかかる修繕料や燃料代、車検代、保険料等。消防団運営事業は、51,961千円。団員の報酬や手当、本部や支団への交付金等。

消防施設費は消防施設整備事業として13,980千円。詰所の修繕、消火栓の整備等に関するもの。

次に、災害対策費。

防災教育・訓練事業が88千円。防災訓練にかかる消耗品等。

災害対策事業が3,459千円。主に災害用備蓄品、災害用トイレ、土のう袋、液体ミルク等の購入。また、会計年度任用職員1名の雇用関係予算を計上した。

防災情報伝達事業が58,863千円。主なものとして、防災無線の更新工事が2局、具体的

には西再送信子局と仲根再送信子局。また、千葉県防災行政無線の再整備が予定されており、これに伴う負担金が発生している。

自主防災組織育成事業は、自主防災組織に対する補助金で1,000千円、国民保護事業は委員への報酬等で22千円。

最後に、災害対策本部等事務費は4,890千円。台風などの風水害等で対策本部を設置した際の市職員の時間外手当や、防災減災費用の保険料となっている。

合計で886,529千円。令和4年度と比較して39,578千円の増だが、増額の主な理由として、常備消防への負担金、消火栓施設整備負担金の増があげられる。

また一方で、災害対策費は減額となっている。これは、新規事業として千葉県防災行政無線の再整備があるものの、令和4年度には防災ラジオの購入や海拔表示看板の更新があり、令和5年度は比較して減額となった。

【消防生活安全係係長】

資料2の事業計画について補足して説明する。資料では6月25日に実施予定の安房支部消防操法大会の会場が未定となっているが、先日の安房支部総会において、会場を安房合同庁舎駐車場として実施すると決定した。

【議長】

委員からの質疑意見等の有無を諮るに、吉田委員より意見あり。

【吉田委員】

資料3で常備消防の負担金が増額となっているが、これは職員人件費の増ということか。

【危機管理課課長】

これは来年度西岬分署と神戸分遣所が統合分署になる予定であり、その分署建設の工事費が主な理由となっている。

【議長】

委員からの質疑意見等の有無を諮るに、質疑意見等無し。

議件2及び議件3について、原案どおりの承認とするか諮るに、異議無し。

議件2及び議件3は、原案どおり承認する。

(4) 議件4 その他

【議長】

議件4について、事務局から報告等を求める。

【危機管理課課長】

先ほどの説明でもお伝えしたが、消防団員のヒアリング結果について、集計が終わり次第委員の皆さまにはお知らせさせていただく。

【議長】

他に、委員から質疑意見等の有無を諮るに、質疑意見等無しのため、本日の議件はすべて終了とし、議長の職を解く旨、宣する。

【進行：危機管理課課長補佐】

以上で、令和4年度第1回消防委員会を閉会とする。

9 閉 会（午前10時45分）

（以上）

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により会議録の内容について確認します。

令和5年3月1日

栗原 孝明
